

第三十六

敵ノ奸策ニ陥リ苦戦又ハ包圍セラレ砲兵陣地ニ急襲
セラレタルモ之ヲ撃退シタル戦例

作戦(戦闘)名	年月日	場所	部隊名	敵軍及兵力	戦果
晋中第一 期作戦	昭十五、 九、七、	双峰鎮 附近	山砲兵第三十六聯隊 第三大隊第九中隊 獨立五中隊	八路軍 第一二九師	遺棄屍体四七五 ヲ見出し、輕キ 自劊ニシテ、 ハ八

一般ノ状況

山下少尉ノ指揮スル山砲兵第三十六聯隊第九中隊獨立五中隊ハ九月四
日永野支隊長ノ直轄ヲ命ゼラレ支隊主力ノ骨幹トナリ支隊ノ企
圖スル北嶺ニ双峰鎮、白壁地區ノ徹底的掃蕩戦ニ参加ス、
五日薄暮、支隊大兵中隊ハ双峰鎮部落ヲ急襲檢索シ敵ニ
九師ニ屬スル俘虏ニ名ヲ捕獲シ來リ取調ベ、結果左ノ如ク敵情
判明ス、

(1) 一九師第三八六旅八石太線ノ停車場ニケ所ト鉄橋ニケ所ヲ襲撃シ目下引エケ後退中ニシテ其ノ主力約一千八昨旦双峰鎮ニ宿營シ本五日紅城鎮方向ニ前進セルモ行先ニツキテハ詳細承知セス

(2) 吾等ト行動セシセル部隊ハ北嶺上附近ニ日前ニ在リタルモ其後ノ行動ニ就イテハ承知セス

以上ノ如ク情報ヲ得タル支隊長ハ明日早朝双峰鎮附近ニ進出シ更ニ該部落附近ヲ徹底的ニ檢索シタル後北嶺上ニ向ヒ轉進シ該地附近ノ敵ヲ求メテ捕拏殲滅スルニ決ス

戦闘經過ノ概要

一 山砲分隊ハ六日五時宿營地タル道陸村ヲ支隊行軍序列ニ入リ出發六時十分双峰鎮部落ニ進出ス

支隊ノ先頭大平庄(双峰鎮西北方ニ料)ヲ過キタル頃支隊ノ後衛

中隊タル步兵第十一中隊ハ敵ノ一部隊双峰鎮北側高地ニ展開
中ナルヲ發見獨斷コレヲ攻撃ス、依ツテ山砲分隊ハ先ヅコ
レニ協カスルニ決シ支隊長ニ報告スルト共ニ直ニ道路ニ北面シ
テ陣地ヲ占領シ射撃ヲ開始ス彼我ノ距離六百米ナリ、
敵ハ東側ヨリノ友軍歩兵ノ攻撃ト山砲分隊ノ正確な側射
ニ依リ約五分ノ戦闘ノ後北方ニ退却ス、コノ時支隊本部ノ先
頭位置タリシ太平庄方向ニ熾烈ナル銃聲ヲ聞ク、山砲分隊ハ
該方向ノ戦闘ニ協カスベク陣地ヲ太平庄北側高地ニ推進シ支
隊主カ正面ノ敵ニ對シ九時射撃ヲ開始ス、目標セル敵兵カ
ハ六百ヲ算サス、十二時十分友軍歩兵前カ高地ヲ奪取スルヤ直
ニコレニ追隨該高地左側ニ陣地ヲ占領、敵重火器ノ制壓ヲ受
テ四時十分ニ至リ、△一二三高地ニ約五百ノ新ナル敵現ル、山砲分
隊ハコノ敵ニ對シ制壓射撃ヲ開始ス、敵ノ主カハ△一二三七

高地附近ニアルモノ、其ノ同方向ヨリ遂次第一線ニ及クヲ増加シ来
レリ、十七時頃友軍歩兵隊十中队ノ報告ニヨリ約五六百ノ敵ハ双峰
鎮部落ヲ占領セルヲ知ル更ニ同時刻双峰西南才閉鎖曲線
高地ニ約百名ノ敵現出シ我カ後オヨリ急射ス
分隊ハ直ニテ、敵ヲ制壓スルニ決シ榴散彈、重火射撃ヲ以テ
適時敵火ヲ封ジツツ駄馬位置ノ变换並ニ陣地ノ補強ニ勉メ
然レドモ孤立セル支隊本部ト山砲分隊陣地四周ノ敵ハ遂次
西南才閉鎖曲線高地ヲ經テ西才ニ進出シテ我ヲ包圍スルノ
能勢トナレリ分隊ハ適時敵ヲ制壓シツツ遂ニ日没トナル
分隊ハ敵ノ夜襲ヲ豫期シ零距離射撃ノ準備ヲナス、一才暗夜
アレドモ双眼鏡ヲ用ヒ暗ヲスカシテ敵情ノ搜索ニ努ム、コノ時敵
ハ優勢ヲ賴ミ周ヲ利用シ我砲兵陣地左側オノ友軍機関銃
陣地ヲ猛烈ニ夜襲スルヲ認ム、機ヲ失セズコノ敵ニ對シ零距離

射撃ヲ浴セカクレバ敵ハ我ガ射撃ニ依リ天空ニ改キ飛バサルヲ見ル
然レドモ敵ハ尚執拗ニ我ガ彈兩ヲ著リツ、友軍機関銃陣地ニ對シ
突撃シ來リ手榴彈ヲ投ズ

斯クスル中ニ機関銃隊長先ヅ戦死シ幹部以下亦殆ド戦死傷
ス加フルニ銃ハ敵手榴彈ニ依リ故障ヲ生セリ、爲ニ該高地ハ放
棄スルノ止ムナキニ至レリ我ガ砲兵陣地ハ茲ニ至リテ左側ヲ全ク
敵ニ露出スルニ至ル、勢ヲ得タル敵ハ喇叭ヲ吹奏シツツ我ガ陣地正
面ニ再三蔓進シ來タル然レドモ我ガ火砲ノ前三挺ニ屍ノ山ヲ築クノ
ミ敵ハ茲ガ正面ヲ断念シタルモノイハシ

ニテニ時支隊命令ニ依リ山砲陣地ヲ支隊本部附近ニ後退ス、分
隊ハ極力陣地ノ工事ヲ實施セシム、夜半ニ入り敵ハ笛喇叭ヲ吹奏
シツツ我ガ陣地ニ攻薄シ來ルモ、其ノ都度我ニ撃退セラレ、分隊全
員最後ノ白兵戦ヲ準備シ夜ヲ徹ス

二

七日五時敵ノ喇叭ノ號音ト共ニ退却ノ微アリト判断シテリタル
モ更ニ三時十分天明ト共ニ前機関銃陣地跡ニ現出シテ來タレ
リ山砲分隊ハ「あゝ」彈ヲ以テ連續必中ノ射撃ヲ加レバ敵ハ
散亂シテ東北オニ潰走ス斯クシテ該陣地ヲ友軍歩兵再ビ
占領ス

三

コレヨリ先六日夜半双峰嶺ニ西オ柳林ニ到着セル高雄部隊トセ
日八時過ぎ連絡成リコレト協力シテ殘敵ヲ追撃掃蕩ス
敵ハ主カラ以テ南方ニ一部ヲ以テ西オ及東オニ敗走ス

教訓

一 彈藥ノ節約ニ就テ

本戦鬪ニ於テ友軍歩兵ノ劣ハ極メテ僅少ニシテ爲ニ既ニ占領セ
ル陸地モ固守スルニ足ラズ況ヤ生撃ノ餘力ナカリシヲ以テ山砲分
隊トシテハ主トシテ敵重火器ノ制壓ト戦鬪初期ニ於ケル友
軍ノ陣地占領ニ協カシ爾後自重ラ所謂無駄彈ヲ發射セス將
來ノ決戦ニ備ヘタリ爲ニ六日夜半ニ至リ友軍歩兵砲並ニ機關
銃彈場キタルノ状況下ニアリテモ我ガ山砲分隊ハ残彈ハ
發テ保存シヤリ、サレバ七日天明後ニ於テモ尚充分戦鬪ヲ經
續シ得ルノ自信ヲ有シ支隊長以下歩兵將兵ノ信頼ヲ確保
セリ、六日晝ヨリ七日晝迄喫食セシムルヲ得ザリシモ兵ニ至ル迄
空腹ノ色ダニナク志氣極メテ旺盛ナリシハ彈藥アリシ爲ナリ
ト信ズ砲兵ノ戦鬪ハ先ヅ第一彈藥タル感銘ヲ新タニセリ

二 陣地設備ニ就テ

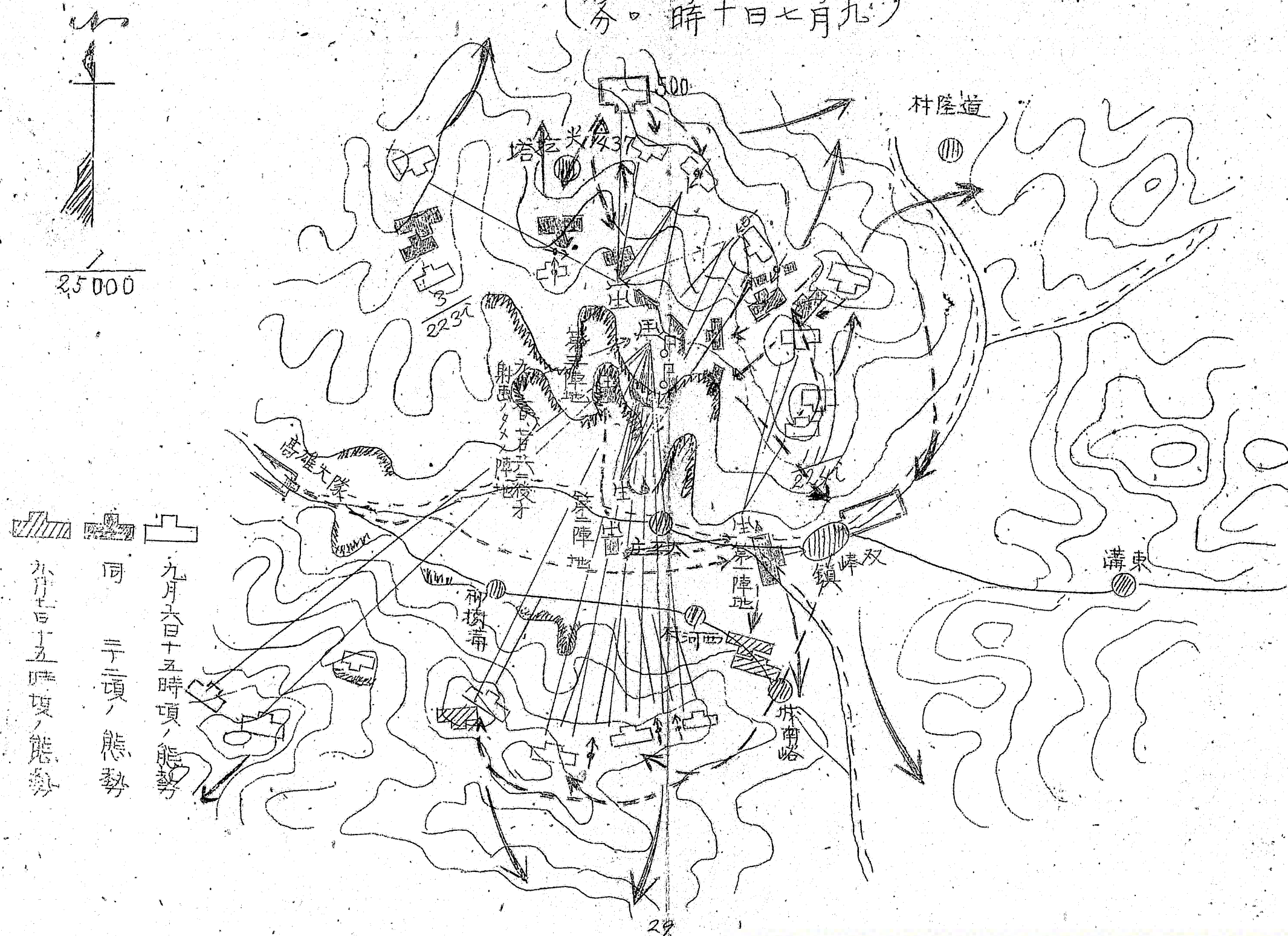
陣地設備ハ補強完備スルニ及ビ例ハ敵軍ヨリ反覆襲撃シ来
タルトモ必勝ノ自信ヲ得タリ

コレニ依リ必著シテ思フ存今正確ナル射撃ヲ實行シ且ツ兵
ノ損害モナク支那要頭戦死セシノミニテ良ク戦鬪ノ目的ヲ
達スルヲ得タリ工事ノ必要ナルハ常ニ教ヘラレ且教ハアル處ナル
モ今次戦鬪ニ於テ深クソノ必要ナルヲ感得ス工事ニ據リ一兵
良ク数十倍ノ敵ヲ對テスルヲ得ベクマシテ完備セル工事ニ據
ル砲門ノ威力ニ於テオヤト感銘セリ

三 双眼鏡ノ活用ニ就テ

日没後ニ於テモ地形天候ノ如何ニ依リテハ近距離搜索ニ有利ナ
リ細心ノ搜索眼ヲ持テ双眼鏡ヲ活用スルトモハ良ク敵ヲ發
見スルヲ得

雙峰鎮附近之戰鬥要圖
 (九月六日十八時分
 九月七日十時分)



九月六日十五時頃、熊勢
 同 三二頃、熊勢
 九月七日十五時頃、熊勢